



# 志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校  
令和元年度学校だより  
第 7 号  
令和元年9月30日

## 学ぶ楽しさ、伸びる喜び・・・成長が実感できる充実の秋に

「暑さ寒さも彼岸まで」。昔の人は一日一日、季節を感じながら過ごしてきたのでしょう。9月初めの残暑を忘れてしまうほど、秋の風を感じる頃になりました。

9月22日(日)の運動会では、雨が時折強くなる中、保護者、地域の皆様には、最後まで子どもたちに熱い声援を送っていただき、本当にありがとうございました。急きょ、プログラムを変更しましたが、高学年の子どもたちは係の仕事など臨機応変に対応し、それぞれが自分の役割を自覚し、責任を果たす姿が見られました。低学年や中学年もそれぞれの競技・演技だけでなく、団席での応援にも力を発揮していました。

地面が濡れて、服が汚れても気にすることなく、一人一人が一生懸命に取り組んでいたことに子どもたちの本気を感じることができました。保護者や地域の皆様の温かく見守っていただいたお気持ち子どもたちに伝わり、会場全体の皆さんで運動会を盛り上げていただきました。ありがとうございました。

本校では、気付き、考え、発信する子どもを育てていこうと、日々の教育活動に当たっています。運動会までの取り組みの中でも、応援リーダーは、自分たちのよさを活かそうと毎日のように話し合い、練習をして、応援団に伝える姿が見られました。低学年や中学年は、休み時間にも自主的に音楽をかけ、友達と動きを確認しながら、楽しんで練習をしていました。

学習の場面でも、自分たちで気付き、主体的に考えることで学ぶ楽しさや自分たちの伸びを感じることができるよう取り組んでいるところです。

2学期は、これからも持久走大会、作品展、6年生は市合同音楽会など多くの行事があります。また、小中一貫教育の取り組みや外国語活動や国語の取り組みについて市内、府内の先生方に見ていただく研究発表会も行います。

「きょうは、みそあじ(協力、話を聴く・反応する、身支度、掃除、あいさつ、時間を守る)」を合言葉に、日々充実した「助走」をし、それぞれの行事で「ジャンプ」することができる2学期になるよう、子どもたちとともに一日一日を大切にしていきたいと考えています。引き続き、ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



校長 小森 昌子  
教職員 一同

### 気付いたことから、学びが広がります

先日、霧がかかった朝、登校してきた男の子が「先生、霧ってなんでできるんですか。」と尋ねてきました。またある子は、霧が光に当たる様子を見て「なんか雨みたいに見える。」とつぶやいていました。

登校中に落ちていいるいがぐりを見つけ、「先生、小さい秋見つけた。」と持ってきてくれる子もいます。

「今、理科で天気と雲の勉強をしているんだけど、今日は、少し雲が多いし、天気予報でも夕方から雨が降るって言っていたから。」と、傘を見せてく

れる子、理科の学習で角のついた青虫を見つけ、翌日、早速、家から持ってきた重い図鑑を見せてくれる子、休み時間にも熱心に探す子・・・

子どもたちは自分で気付いたことや見つけたことがあると、誰かに伝えたくなったり、もっと深く調べたくなったりします。そうして、学びが広がっていきます。大人にとっては、当たり前のことでも、子どもたちにとっては「発見」です。「へえ、ほんとだね。よく気が付いたね。」って、言ってもらっていますか？